

# 令和8年度 和木町立和木中学校 学校経営案

山口県教育目標 「未来を拓く たくましい『やまぐちっ子』の育成」

「町ぐるみ『和木学園』」  
和木町教育目標 「ふるさと和木に誇りと愛着を持ち 和木の将来を担う人づくり」

## 【学校教育目標】

「ふるさと和木を愛し 夢と誇りをもって 心豊かにたくましく生きていく生徒の育成」  
～表現力と積極性～

【校訓】 英知（確かな学力） 愛情（豊かな情操） 勇気（たくましい実践）

### 【めざす学校像】

- 誇りをもって学びたいと思える学校（生徒）
- 通わせたいと思える学校（保護者）
- 勤めたいと思える学校（教職員）
- 応援したいと思える学校（地域）

### 【めざす生徒像】

- わくわくが溢れ、自ら意欲的に学ぶ生徒
- 繋がりを大切にし、協働できる生徒
- 進んで実践する生徒

### 【めざす教師像】

- 学び続ける教師
- 生徒の心に寄り添える教師
- 信頼関係を築き組織で実践できる教師

【チャレンジ目標】 『 時を守り 場を清め 礼を正す 』

「凜とした雰囲気のある学校」 「よりよい社会人としての資質・能力の育成」

【生徒会スローガン】 「 志 ～目標に向かってまっすぐに成長～」

### 【学校経営方針】

- 1 教科教室や ICT 機器等の恵まれた学習環境を有効活用し、表現力の育成に焦点を当てた指導方法の工夫・改善と確かな学力の定着
- 2 豊かな人間関係を築き、夢と誇りをもち、自己実現に向けて積極的に活動する生徒の育成
- 3 やまぐち型地域連携教育の推進による、地域とともにある学校づくり
- 4 「町ぐるみ『和木学園』」の中で「こどもまんなか」の視点で取り組む園小中一貫教育の推進
- 5 PDCA サイクルによる着実な学校改善、業務改善に基づく働き方改革の推進

## 【重点目標・具体的方策】

### 1 教育課程・学習指導

- (1) 生徒の積極的かつ主体的な取組を生かした授業づくり
  - ICT 機器を活用した授業改善
  - 学び合い（主体的・対話的で深い学び）のある授業実践
  - 授業のめあてと振り返りによる学習内容を見通した学習
  - 園小中の連携を意識し、**積極的な学習への取組と表現力の育成を軸にした研修の充実**
  - 学校で大人が学べる機会の充実（美術部の取組を参考に、機会の創出）
  - 総合的な学習の時間を活用した地域行事への取組の充実（県総合防災訓練 6.14、わき愛あいフェスティバルへの参画）※令和8年度県指定地域ぐるみの防災キャンプ推進事業校
- (2) 学習規律を大切にし、落ち着いて授業に取り組むことのできる生徒の育成
  - わきっこスタンダードの実践
  - 委員会による学習規律の啓発
  - 生徒のよいところを伸ばす声かけ
- (3) 家庭学習の習慣化
  - 宿題や自学ノート等の確認と声かけ
  - 保護者の働きかけを意図したアンケートの実施
  - 「マイガクの手引き」の配付を基にした家庭との連携
  - タブレットの持ち帰りを基本とし、AIを活用できる指導・支援の体制づくり
  - 一人ひとりの生徒に合った課題の設定

### 2 生徒指導・教育相談

- (1) 一人ひとりの生徒に寄り添った円滑な人間関係の構築
  - 教育活動の様々な場面での生徒の価値づけ
  - 一人ひとりの生徒への日々の声かけ
  - 生徒会活動、学校・学年行事を中心とした生徒の活躍の場の設定
- (2) 生徒が安心して安全に生活できる学校づくり
  - 一人ひとりの生徒の心の変化の共有
  - 生徒指導上の諸問題への組織的な対応（個別の指導における教職員の連携の改善）
  - 生徒指導上の諸問題に対する家庭、関係機関（町教委、保健相談センター、児童相談所、警察等）との連携
  - SC、SSW との計画的、継続的な連携（SC、SSW に対する生徒指導・教育相談部会への参加の促進、情報共有、対応策等の相談、受指導）
  - SL（スクールロイヤー）との連携の模索
- (3) 凡事徹底の実践と学校行事を通じた豊かな心の育成
  - 「労作活動」への積極的な参加
  - 諸行事でのボランティア活動の奨励
  - 意志力、情操力、想像力を育む心磨き清掃の機会の確保と徹底

### 3 家庭・地域社会との連携

- (1) 保護者や地域の方の参加を増やすための学校行事の啓発
  - 行事案内やホームページ、スクリレによる保護者への啓発（各学期土曜参観日の設定）
  - 学校評価等教育活動のアンケートの実施
  - 家庭教育支援チームと連携した土曜参観日におけるサロンの**充実**
- (2) やまぐち型地域連携教育の推進による生徒の地域行事への参加
  - 学校・地域連携カリキュラムのブラッシュアップ及びカリキュラムに沿った活動の推進
  - 生徒集会における校長や担当者による働きかけ
  - 生徒会活動を通じた地域行事参加の啓発
  - 学校だよりやホームページ、スクリレでの地域行事参加状況の記載
  - 参加の様子の写真掲示
- (3) 進んであいさつのできる生徒の育成
  - あいさつを通じた尊師親愛生の精神の醸成
  - あいさつ運動の生徒会活動やボランティア参

- 加の推進、改善、啓発（園小に働きかけ、連携した活動の工夫） ○あいさつや正門における一礼の改善 ○地域にアピールするあいさつ運動の仕掛けづくり
- コミュニティ・スクール委員会での状況把握
- (4) 地域企業（ENEOS、三井化学、勝井建設等）との連携、活動の充実

#### 4 人材育成・業務改善

- (1) 自己目標をもとにした授業力・生徒指導力・業務遂行力の向上
  - 年3回の教職員面談の実施 ○面談等での気づきをもとにした自己目標の振り返り
  - 達成状況からの自己目標の改善
- (2) 学習指導や生徒指導、業務の組織的な取組でのチームによる人材育成の推進
  - 「一人一授業公開」でのミニ研修の充実 ○公開のみにとられない教職員同士の積極的な互見授業研修 ○園小中の密な情報交換を基に連携した互見授業研修等の実施及び推進
  - 生徒指導上の諸問題のチームでの対応 ○業務遂行における教職員の協働
- (3) 業務改善等による時間外勤務時間の短縮への意識の向上
  - ライフワークバランスのための職員会議後の勤務時間終了時の閉庁
  - 電子カードによる月ごとの時間外勤務時間の把握
  - 自動音声電話を利用した電話対応の改善
  - スクリレの新機能を活用した業務改善
  - 検定試験の校内実施回数の削減
  - 時間外勤務時間を意識した教職員の互いの細かな声かけ